

## 第118回国立天文台運営会議議事抄録

日 時：2024年6月11日（火）11時00分～17時00分

場 所：国立天文台大会議室及びオンライン（Zoom）

出席者（会場）：吉田（議長）、荒井、大向、栗木、小林、山田、米倉、生駒、鵜澤、  
臼田、齋藤、野村、深川、本間、渡部 各委員

出席者（Zoom）：兒玉（副議長）、河野、住、田越、横山、宮崎 各委員

欠席者：なし

オブザーバー：土居台長、藤田事務部長

### 【台長挨拶及び委員紹介】

土居台長から、第11期（2024年度～2025年度）国立天文台運営会議開催にあたって挨拶があり、資料1に基づき、委員の紹介があった。

### 【国立天文台運営会議について】

土居台長から、資料2-1～2-3に基づき、当会議の任務等について説明があった。

### 【サイエンスレポート】

次のとおり、研究成果の報告があり、質疑応答を行った。

「温帯地球サイズ惑星の大気の研究の鍵となる Gliese 12 b の発見」

（アストロバイオロジーセンター／国立天文台ハワイ観測所 特任助教 葛原 昌幸）

### 【台長等諸報告】

#### 1. 研究教育職員の人事異動について

土居台長から、資料3に基づき、研究教育職員の人事異動について報告があった。

#### 2. 台長諸報告

土居台長から、資料4～5に基づき、国立天文台の概要、新執行部体制、抱負及び将来計画、TMT関連の状況について報告があり、質疑応答を行った。

### 【議 事】

#### 1. 議長及び副議長の選出について

土居台長から、資料6に基づき、当会議議長の選出について説明があり、吉田委員が議長に選出された。続いて、吉田議長から、兒玉委員が副議長に推薦され、選出された。

#### 2. 前回議事抄録について

吉田議長から、資料7に基づき、第117回議事抄録について説明があった。

#### 3. 研究教育職員等の人事について

##### （1）人事選考に関する委員会の設置について

吉田議長から、資料8-1～8-2に基づき、人事選考に関する各委員会について説明が

あった。続いて、回収資料1に基づき、研究技師系人事候補者選考会構成員を選出し、回収資料2に基づき、助教資格審査委員会委員を選出した。

(2) 研究教育職員の公募について

吉田議長から、資料9に基づき、女性限定准教授の公募について説明があり、質疑応答の後、公募文を一部修正することとし、承認した。併せて回収資料3に基づき、同公募に係る人事候補者選考会について説明があり、構成員を選出した。

続いて、本間委員から、資料10に基づき、水沢V L B I 観測所助教の公募について説明があり、承認した。併せて吉田議長から、回収資料4に基づき、同公募に係る人事候補者選考会について説明があり、構成員を選出した。

(3) 研究教育職員の選考について

女性限定助教の選考について、人事候補者選考会から、回収資料5に基づき、審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

アルマプロジェクト助教 1名

続いて、先端技術センター研究技師の選考について、人事候補者選考会から、回収資料6に基づき、審査報告があった。候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

先端技術センター研究技師 1名

(4) 年俸制職員（特任教員）の選考について

生駒委員から、科学研究所特任教員の選考について、回収資料7に基づき、審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

科学研究所特任教員 1名

(5) クロスアポイントメントについて（報告）

生駒委員から、資料11に基づき、東京大学宇宙線研究所とのクロスアポイントメントの延長について報告があり、質疑応答を行った。

(6) 人事選考に関するワーキンググループの設置について

吉田議長から、人事公募の方針にかかる前期運営会議での議論について説明があり、審議の結果、人事の在り方を検討するワーキンググループを設置することを含め、次回会議において引き続き議論することとした。

#### 4. システム安全・信頼性推進室の設置について

鵜澤委員から、資料12に基づき、システム安全・信頼性推進室の新設について説明があり、意見交換を行った後、原案のとおり承認した。

#### 5. 連携教授等の称号付与について

吉田議長から、資料13及び回収資料8に基づき、連携教授等の称号付与について、候補者の研究計画や受入先等に関する説明があり、次のとおり承認した。

連携准教授 1名

#### 6. 国立天文台サイエンスロードマップについて

吉田議長から、資料14に基づき、国立天文台サイエンスロードマップの策定について説明があり、意見交換を行った後、サイエンスロードマップの策定母体を科学戦略委員会とすることを承認した。また、当会議と科学戦略委員会が連携するプロセスの必要性を確認し、次回会議において引き続き議論することとした。

#### 7. その他（報告）

##### （1）2024年度プロジェクト室等年度目標

斎藤委員から、資料15に基づき、2024年度プロジェクト室等年度目標について報告があった。

##### （2）EAOの状況報告

斎藤委員から、資料16に基づき、EAO・JCMTの状況及び国立天文台としての対応方針について報告があり、質疑応答を行った。

##### （3）科学研究部科学諮問委員会委員について

生駒委員から、資料17に基づき、科学研究部科学諮問委員会の委員構成について報告があり、質疑応答を行った。

##### （4）専門委員会等報告

###### ・プロジェクト評価委員会

斎藤委員から、資料18に基づき、プロジェクト評価委員会の役割、評価の考え方や進め方、委員構成について説明があった。

###### ・研究交流委員会

生駒委員から、資料19に基づき、研究交流委員会の役割、委員構成について説明があった。

###### ・科学戦略委員会

斎藤委員から、資料20-1に基づき、科学戦略委員会の役割、委員構成について説明があった。続いて、資料20-2に基づき、第Ⅲ期第7回科学戦略委員会について報告があった。

- ・ 外部委員協議会

兒玉委員から、資料21に基づき、外部委員協議会の役割、委員構成について説明があり、質疑応答を行った。

(5) 今後の開催日程について

資料22に基づき、次回は2024年7月17日（水）に開催することを確認した。

以上